

強化の時期におけるキリストを経験し、享受し、供給する

聖書：啓 1:4, 3:1, 4:5, 5:6, 2:7, 17, 3:20, 1:2, 9, 19:10

**I. 金の燭台の七つのともし火は、神の御座の前で燃える七つの火のともし火として、七つの霊です。これが表徴するのは、七つのともし火が、神の御座から神の永遠の政策を執行する彼の行政、エコノミー、行動と絶対に関係があるということです——啓 1:4, 4:5 :**

A. 神の行政とエコノミーを知るために、わたしたちは輝き照明するともし火から、金の燭台の光を持たなければなりません :

1. 天然の光は、わたしたちを助けて神のエコノミー、行政、永遠の定められた御旨を認識させることはできません。燭台の光は、召会を予表する聖所にある光です——マタイ 5:14, I コリント 1:2, 啓 21:23, 25, 22:5。
2. いったんわたしたちが召会の領域の中に入るなら、照らされて神の永遠の定められた御旨を知ります。わたしたちはまた、わたしたちの前にある行程のために取るべき道を知り、神の目標に向かいます——詩 73:16-17。

B. 燭台の光は、祭司の奉仕の強さに基づいています :

1. サムエル記上で、神のともし火は消えかかっていました。なぜなら、祭司エリが弱く、墮落していたからです——3:3。
2. もしわたしたちが、香をたき、ともし火をともしという祭司の義務を果たさないなら、地方召会の中の光は、明るくなることはできません——出 25:37, 27:20-21, 30:7-8, 使徒 6:4, I コリント 14:24-25。

**II. 七つの霊は、贖う小羊と建造する石との七つの目です——啓 4:5, 5:6, ゼカリヤ 3:9 :**

A. 七つの目は、キリストであるすべてを、わたしたちの存在の中に注入するためです。すなわち、それは法理的な贖いにおける贖う小羊として注入し、また彼の有機的な救いにおける建造する石として注入します。それは、わたしたちが彼の命の中で救われて、神の建造、神の表現のために、彼であるのと全く同じになるためです——9 節, I ペテロ 2:4-5, ローマ 5:10 :

1. 人の目は、彼の内なる存在の表現です。注入することは、人の内なる存在を、彼が見つめている者の中に伝達することです——II コリント 2:10。
2. 七つの霊は七つの目であり、キリストはそれによってご自身を表現します。主がわたしたちを見つめるとき、彼の七つの目はご自身をわたしたちの中に注入します。
3. 召会は、主が彼の内なる存在をわたしたちの中に注入する場所であり、それはわたしたちを造り変えるためです。造り変えは、主の愛すべきパーソンをわたしたちの中に注入することです——3:16-18, ローマ 12:2。

B. 神はわたしたちを、彼の目をもって導きます——歴代下 16:9, 詩 32:8, 箴 15:3, II コリント 2:10。

**III. キリストは七倍に強化された霊として働き、勝利者を生み出しています。それは、彼らを召会の墮落から連れ出してご自身を享受することへ戻すことによってであり、神**

の新約エコノミーを完了するためです——啓 1:4. 3:1. 4:5. 5:6. 2:7, 17. 3:20 :

- A. 勝利者は、初めの愛をもって主を愛します—— 2:4. コロサイ 1:18 後半。
- B. 勝利者は、今日のパラダイスである召会の中で、命の木であるキリストを食べることを享受し、輝く燭台となります——啓 2:7. 参照、5 節。
- C. 勝利者は死に至るまで忠信であり、貧しさと試みを耐え忍び、命の冠を得ます—— 9-10 節。
- D. 勝利者は、隠されたマナ、すなわち特別な分の養う供給としてのキリストを享受し、バラムの偶像礼拝的な教えと、ニコライの者たちの聖職者階級的な教えを持つ墮落した召会の、この世的なことに打ち勝ちます—— 12-17 節前半。
- E. 勝利者は造り変えられて「白い石」となり、主によって義とされ、是認されます。それは神の家の建造のためであり、命における造り変えにしたがった「新しい名」をもってです—— 17 節後半。
- F. 勝利者は、イゼベルのローマ的な教えに抵抗して強く立ちます。その教えは淫行、偶像礼拝、サタンの深い事柄に満ちています—— 20, 24 節。
- G. 勝利者は霊的な死を逃れ、実際の中に生きて、不完全さの中で死ぬことはなく、何の汚れもない「白い衣」を着て歩みます。そして彼らの名は命の書から消されないで、主によって彼の御父と御父の御使いたちの前で言い表されます—— 3:1-2, 4-5。
- H. 勝利者は少しばかりの力を持っていて、主の忍耐についての言葉を守り、主の御名を否みません。それによって彼らは、地上に住むすべての者たちを試すために臨もうとしている試練の時から守られ、冠の褒賞を受けて、神の宮の柱となり、神の御名、神の都、新エルサレムの名、キリストの新しい御名が、彼らの上に書き記されます—— 8 節後半, 10-12 節。
- I. 勝利者は熱く、なまぬるくなく、火で精錬された金、白い衣、目薬を買います。それによって彼らは主の口から吐き出されることがなく、招かれて主と共に食事をし、彼の御座に彼と共に座します—— 15-21 節。

**IV. 勝利者は七倍に強化された霊を享受して、イエスの証しとなります—— 1:2, 9. 19:10 :**

- A. イエスの証しは、輝く召会である七つの金の燭台です。それは性質において神聖であり、暗やみの中で輝いており、互いに同一です—— 1:11-20。
- B. イエスの証しは、天の宮で神に仕える大群衆、神の贖われた者全体であり、天に携え上げられて、神の顧みと小羊の牧養を享受します—— 7:9-17。
- C. イエスの証しは、男の子を宿している輝く女です。輝く女は神の贖われた者全体を表し、男の子は神の民の強い部分である勝利者を表します—— 12:1-17。
- D. イエスの証しは初穂であり、それは大患難の前に携え上げられる勝利者を表徴します。イエスの証しはまた収穫であり、それは大患難の終わりに携え上げられる大多数の信者たちを表徴します—— 14:1-5, 14-16。
- E. イエスの証しは、ガラスの海の上に立っている勝利の者たちであり、後期の勝利者を表徴し、彼らは大患難を経過して、反キリストと反キリストを拜むことに打ち勝ちます—— 15:2-4。
- F. イエスの証しは、婚姻の用意を整えた花嫁であり、千年期の間の勝利を得た聖徒たちから成っています—— 19:7-9。

- G. イエスの証しは花嫁の軍隊であり、神の具体化であるキリストとの一の中で戦って、サタンの具体化である反キリストと彼の軍隊を打ち破ります—— 14-19 節. 17:14。
- H. 究極的に、イエスの証しは新エルサレムです。それは手順を経て究極的に完成された三一の神と、再生され、造り変えられ、栄光化された三部分から成る彼の民との、大いなる宇宙的な、神性と人性の合併です (21:2-3, 22. 参照、出 38:21)。またすべての燭台の究極的完成である唯一の燭台であり、神を究極的に表現します (啓 21:18, 23. 22:5)。